

# 寺尾第二地区民生委員児童委員協議会の活動は・・・

定例会月1回（1・8月を除く）  
活動拠点 馬場地域ケアプラザ



エリア会議の開催 3ヶ月に1度  
（包括支援センターとの連絡会）

お一人おひとりに細やかな対応ができるよう、地区を3グループに分け、包括支援の方々との情報の共有や、事例検討の大切な時間を持っています

民生委員の孤立化を防ぐために、互いに相談しやすい環境作りに努めています



## 地域の相談役として・・・

障がいの理解のための講座  
認知症サポーター養成講座  
その他 研修・講座の運営、参加

高齢者等定期  
訪問活動の実施

災害時に備えるために、各自治会  
町内会での見守り活動の実施

地域の方々が相談しやすい環境作りの一環として、障がいや高齢者への理解を深める研修を重ね、スキルアップに努めています



\* \_\_ラインの行事・事業は詳細を以下のページに掲載しています

## 地域福祉の増進に努めるものとして・・・

事業として取り組んでいるもの

高齢者サロン サロンせせらぎ  
親子の広場 バンビ  
多世代交流 学んでご飯

生き生きお食事会  
（高齢者対象の事業）  
春3回、秋3回の  
年間6回実施

福祉保健講座 3講座の開催

高齢者に関する講座「お楽しみ福祉大会」  
子育てに関する講座「食育講座」  
多世代向けの講座「老いも若きも健康づくり」

高齢者の支援・子育て支援・多世代交流の各分野で、集いの場を増やして行けるよう年間を通して事業に取り組んでいます



高齢者向け・子育て支援対応・多世代交流など、日常的な事業ではなく、それぞれの分野に適応した行事も開催しています

## 地域の相談役として・・・



地域の方々が相談しやすい環境作りの一環として、障がいや高齢者への理解を深める研修を重ね、スキルアップに努めています。また、対象を地域の方々へも広げて、啓蒙・啓発の機会にもできればと思っています

## 2021年度の活動を紹介します

寺尾第二地区では、活動拠点である馬場地域ケアプラザと共催で、障がい理解のための講座を計画し、地域の方々にも参加を呼びかけています

## 障がい理解のための講座

### あたたかく見守って♪

6月29日(火)馬場地域ケアプラザにおいて、馬場地域ケアプラザと寺尾第二地区社会福祉協議会共催の「障がい理解のための講座」がありました。心配された雨もあがり、50名を超える方が参加されました。当日は、つるみ地域活動ホーム幹の横内主任が「知的障がい」についてお話し下さいました。知的障がいは、重複している場合が多く、それぞれの特性に配慮する必要があること、接する時は、具体的で肯定的な言葉で短く伝えることが大切なことを教えて頂きました。また、井上副施設長が、「つるみ地域活動ホーム幹」は、20年ほど前に横浜市が独自に作った制度によりできた施設で、それまでのものと異なり、通所しながら地域で共に生きていくことを目指しているところであることをお話し下さいました。講座を通して、一人でも多くの方が、障がいについて正しく理解し、温かく見守ることができる地域でありたいと思います。



幹さんの焼きたてのパンはあつという間に売り切れました



～利用者さんの声から～  
Q.お仕事の何が好きですか  
A.パンの焼き(工程)が好きです  
A.注文が入ると嬉しいです



参加された皆さまには、就労支援事業所“麦の家”のお菓子をお持ち帰りいただきました♡

## 認知症サポーター養成講座

本年も10・11月に実施予定です

寺尾第二地区では平成28年からの5カ年計画で「世代を超えて 未来へつなごう 地域の輪」というテーマを掲げました。その実現のための目標1では「老いも若きも思いやりの心を育てよう」とし、「向こう三軒両隣 ご近所のつながりを広める」に取り組んでいます。その一環として、昨年、8自治会・町内会すべてで、見守り活動が始まりました。

令和2年は、5カ年計画のまとめの年になります。コロナ禍の中でも、見守る人たちのスキルアップを目指し「認知症サポーター養成講座」を開催しました。10月24日、11月26日の2回に分けて実施された講座では、見守り活動を担う多くの方が、熱心に受講しました。「誰もが安心して生活できるまちづくり」への歩みを進めています。

- ① キャラバンメイトさんによる講義(・認知症とは? ・正しい接し方 ・主な症状など)
- ② キャラバンメイトさんによる朗読劇 「おばあちゃん どこ行くの?」
- ③ DVDの視聴 ④ 参加者の感想など ⑤ まとめ

民生委員と多くの地域の見守りをしている人たちが  
オレンジリングを取得しました





# 地域福祉の増進に努めるものとして・・・



## 福祉保健講座 3講座の開催

高齢者・子育て・世代を問わず参加できる行事を開催することにより、日常的な事業ではなく、それぞれの分野に適応した行事を開催しています



福祉保健講座第一講

お楽しみ福祉大会

2021年度の活動を紹介します

7月7日（水）2年ぶりに福祉保健講座第一講「お楽しみ福祉大会」を開催しました。開催に当たっては、より安心で安全な会にするため討議を重ね、①“密”を避けるため、これまでの寺尾地区センターの大広間から体育室へと会場を移す②招待者の人数を少なくする③開催時間を短くする④会食をやめ、お弁当にする⑤マスクの着用を徹底する⑥全員合で歌う場面を手話コーラスにする⑦こまめな手指の消毒を呼びかけることを決め、実施しました。



前日は、地域の方々のご協力で完成した飾り付けを、地区センターのご協力のもと、夜遅くまでがんばりました



市川裕章センター長

マスクを外す場面に  
要注意！

福祉保健センターの市川裕章センター長に「新型コロナウイルス感染症の現状と今後」と題して、講演をしていただきました。

感染しても、8割が、無症状ないしは軽症のため、感染が拡大しやすいこと、感染は、飛沫感染、接触感染なので、①マスクの着用②手指の消毒③換気が大切であることを改めて実感しました。

2回のワクチンが完了しても、発症予防効果は100%ではありません。接種後も感染予防対策は継続していきましょう!!



後半は、横浜出身の歌手 浜 ゆたかさんの歌謡ショーをお楽しみいただきました。

浜さんは、元・敏いとうとハッピー＆ブルーのボーカルとして活躍され、

現在は、ソロ歌手として活動されています。

「わたし祈ってます」「星降る街角」などの懐かしい名曲で盛り上がり、「ジョーノセ横浜」では決めポーズに大きな拍手がわきました。CDのプレゼントや参加の皆さまへのお土産までご用意

くださいました。ありがとうございました。

頂戴したお土産



お帰りの際には、お弁当と、「皆さまと心をともにして頑張っていましょう」というメッセージをつけた記念品をお持ち帰りいただきました。



最後は、全員で手話の「浜辺の歌」を歌いました。